

【 国家基本政策委員会 】

(1) 審議概観

第153回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を2回開き討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、2回開かれ、鳩山由紀夫君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が発言者となって、小泉内閣総理大臣との間で討議が行われた。

11月21日の合同審査会（第1回）では、堀之内久男衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、総理の目指す特殊法人改革各論の内容、与党内での法案事前審査廃止、政・労・使によるワークシェアリングの検討、労働者の人権尊重の必要性、小泉政権による政治主導の政策決定・実施の必要性、現下の国際情勢の下での核廃絶に向けた我が国の取組等について討議が行われた。

12月5日の合同審査会（第2回）では、広中和歌子参議院国家基本政策委員長が会長を務め、特殊法人改革に係る道路財源の使途と在り方、国民に負担偏重の医療制度改革の問題性、外務省プール金問題に対する第三者による再調査の必要性、牛海綿状脳症対策への取組、医療制度改革の受診率への影響、文化・考え方の違いを原因とする国際紛争と我が国の役割、閣僚の株取引解禁の是非等について討議が行われた。

(2) 委員会経過

○平成13年10月17日（水）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。
- 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。

○平成13年11月21日（水）（合同審査会 第1回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成13年12月5日（水）（合同審査会 第2回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。